

かながわ花フェスタ 21  
第1回フラワーデザインコンテスト クイーンズカップ

2009年10月21日～25日

横浜クイーンズスクエアにて

弊社では、クイーンズカップの協賛をさせていただきました。  
会場装花、ファイナルステージにて使われます花材を提供いたしました。

<http://www.queenscup.jp/>

ファイナルステージに提供した花材：  
シースターファーン、コアラファーン、フレクシーグラス、  
パズルスティック、マツカシルバー、エミューフェザー



会場装花～  
マツカシルバー、エミューフェザー



クイーンズカップブーケ部門総合1位  
堀文則さんのファイナルステージ作品  
です。農林水産大臣賞受賞者です。



予選での堀文則さんの作品です。



クイーンズカップブーケ部門総合2位  
グリーンライフショップやまぐち  
椿 卓也さんのファイナルステージ作品  
です。



予選での椿 卓也さんの作品です。



クイーンズカップブーケ部門総合3位  
ローヤルフラワースクール本部  
大森校講師  
青野佳世子さんのファイナルステージ作品  
です。



予選での青野佳世子さんの作品です。



クイーンズカップブーケ部門総合4位  
高田美恵さんのファイナルステージ  
作品です。



予選での高田美恵さんの作品です。

## 出場者よりのコメント～

### クイーンズカップ総合1位

出場者： 堀文則

2009年10月25日 クイーンズカップ第二部ブーケ部門ファイナル競技において使用したオーストラリア産グリーンについてここに報告致します。  
使用グリーン

- ・ フレクシーシグラス
- ・ コアラファン
- ・ シースター

#### フレクシーグラス

スチールグラスほど硬くなくまた、角もない丸い形状のなので、曲線のラインで使う際、非常に使いやすいが、先端がカットされている事と、思うように矯めがきかないので両端を固定しなければ使えなかった。保水しなければ変色してしまうが、ブーケに使用する分には問題はない。

#### コアラファン

一本で使用しても、枝を細かくし使用しても良い使い勝手の良い素材だった。クッショングリーンとしても使用できるが、鮮やかなライトグリーンは魅せなければもったいない。  
水下がりによる落葉の心配もなさそうに感じた。

シースター

チラッと見せる事で魅力を感じた。また、全面に出してその隙間から見えるお花を楽しむ使い方も可能性を感じた。

普段使用しているグリーンとは一味違った感があり、それぞれ特徴があった。レザーファン、レモンリーフ、ピット等、クッションやアウトラインのグリーンとしてではなく、魅せるグリーンとして使用できた。

料理に例えると、ピットやレザーファンなどのグリーンは目に見えないダシの部分だが今回使用したオーストラリア産グリーンは食事の直前にかけるスパイスのような使い方によって見せ方をガラリと変えてしまう大人のグリーンであった。

次回のクイーンズカップではオーストラリア産グリーンの魅力をもっと引き出したい。

## クイーンズカップ総合2位

出場者：椿 卓也

グリーンライフショップやまぐち

いろんな団体の人々の作品を一度にたくさん見れる、とても良い機会でした。参加した感想は、ブーケ部門ファイナル競技は、とても良かった思いました。全員同一花材で下準備時間あり、それをステージで仕上げる。

それで終わりではなく、ウェディングドレスを着たモデルさんが持って歩く。

見ている人が花に見入っているのを感じた。

花のいろいろな可能性を知ってもらう、効果的なステージだったと思います。

ただ、裏方の皆さんは本当に大変そうでした。。。。

お疲れさまでした。

シースター：個性的な形で軽い感じなので、アレンジでも花束にも使えそう。

コアラファン：ライトなグリーンがとても綺麗でアレンジなどに、かなり使えると思う。テマリソウみたいだけど、テマリソウより細かく（軽く）使える。

フレクシーグラス：スチールグラスのようだが、こちらの方がスチールより折れにくく曲げて使うこと出来る。

パズルスティック：フトイのようだが、フトイよりも固いので、いろんな使い方が出来そう。

バーカーブッシュ：和のイメージにも使えそう。竹や菊などにも合いそう。正月などにも使えそう。

エミューフェザー：軽くて流れもあるので、ブライダルブーケなどにも使う。

全体的にもちが良さそうに感じました。

## クイーンズカップ総合3位

出場者：青野佳世子  
ローヤルフลาวースクール本部  
大森校講師

私は展示会やデモンストレーションなどの経験はありましたが、コンテストや競技形式のイベントへの参加は初めてでしたので、なかなか比較が出来ませんが感じたことを書きたいと思います。

まず今回参加してみて一番嬉しかったことは、花関係者以外の多くの人達の目にふれた大会であったということでした。

開催された場所が吹き抜けスペースであったことは勿論ですが、イベントの内容が華やかで充実していたからだと思います。

ブーケショーの後には、何人かの通りがかりに見た、という人達に声をかけられましたし、普段見たこともないような作品と雰囲気にとっても感動していました。

個人的にはスケジュールにおわれていた感じが強かったですが、ファイナル競技での使用花材ではみたことも無いものがありワクワクしました。

が、どのように使ったら素敵にみせられるか？など楽しく考える時間的な余裕がなかったことは残念です。それが競技なのでしょうが。

せっかくのステージ競技でしたので、見てくれる人達に作り方をわかり易く、サプライズみたいに感動が伝われば、と思いましたが時間的に難しいものがありました。

手早く、に重点を置くことも必要だと良い勉強になりました。

今回の私の作品もそうですが、デザインをする上で花だけでは限界があり、グリーンを使うことで大きく幅が広がると思いますが、今回用意されたような花材が日常的に手に取れるよう市場に出回っていないことは悲しいですね。

日本ではまだまだグリーンの人気が無いのでしょうか？

でも知ることが出来ただけでも楽しみが増えたとは思っています。

これからも、誰もが参加出来、誰もが目にすることが出来き楽しめる花のイベントが開催されるといいな、とおもっていますし、参加し力になれるように勉強していきたいと思います。

クイーンズカップ総合4位  
出場者：高田 美恵

第一回クイーンズカップに参加させて頂いて、沢山の作品に触れ、ファイナルに残った中で、数々の感動と出合う事が出来ました。

ステージの上でブーケを制作するのは初めての経験だったのでとても緊張したのを覚えています。提供して頂いた花材の中にオーストラリアグリーンがあり今まで見たことも無いグリーンに最初は少し戸惑いましたが、すぐにその戸惑いはワクワクに代わりました。面白い質感のグリーンやワイヤーのようなグリーンなどを使ってどうやって作ろうかとデザインが広がりました。

私は個性的なコアラファンでインパクトの有るブーケのデザインに挑戦してみました。クイーンズカップでの経験はとても勉強になりました。そして、何より沢山のスタッフの皆様に支えられ大切に貴重な経験が出来た事に感謝いたします。

クイーンズカップに関するお問い合わせは：[info@queenscup.jp](mailto:info@queenscup.jp) まで